

I. 平成30年度の実績

グループ名称	やまの子・とち木の家協会				
H30採択グループ番号	07	—	0397	—	0173

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木県の森林は、県土の約55%を占める。成熟期を迎え構造体にも適する栃木県の森林資源を積極的に活用し、国産木材利用にも考慮した住宅を基本とする。 ・栃木県を中心とした周辺の気候に最適とされている栃木県産材を主要構造材に50%使用し地産地消を施主にもそのメリットをアピールしている。(県産材が供給困難な場合は合法木材を使用する) ・やまの子標準仕様は、柱サイズ105mm以上の一般流通材を使用した在来軸組工法を基本とし、耐震等級2以上、通し柱の接合に、金物(テックワンプ3)を使用し、コストと耐震性のバランスの取れた住宅とする。 ・省エネ住宅として、一次エネルギー消費量等級5を取得し、BELS認証で施主にも省エネ性能を見える形にして提供してきた。 ・維持管理費用が軽減できる家づくりとして、屋根・外壁はメーカー保障10年以上のもの使用、省エネ設備機器10年保証を推奨してきた。
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/08/20	名称	やまの子・とち木の家協会共通ルール説明会			●
	内容	総会とルール説明会、栃木県環境森林部の特別公演を実施しました。 ルール説明会では、遵守事項の説明 事前着工の絶対禁止、着工前写真の撮り方、補助金還元方法の説明、補助金配分方法の確認等説明しました。グループ内ルールとして耐震等級2以上、BELS認証、工種別見積書の使用、ラフプランアドバイスの利用促進、勉強会参加の呼びかけを実施しました。							
② 消費者	消費者説明会 1	無	開催日		名称				
	内容								
	消費者説明会 2		開催日		名称				
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/10/31	名称	ZEH住宅見学・勉強会	タイプ	見学会	●
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有								●
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・構造、省エネ関係の計算、証明書類作成は、グループ内設計構成員(ハイビック株 等)が有償サポートする体制とした。 ・ラフプランアドバイスに関しては、無償でサポートし、計画初期段階で、耐震等級・ZEHを取組み易くした。申請方法や施工方法に関しても支援した。 								
取組み②	サポートの有無 2									
	内容									
取組み③	サポートの有無 3									
	内容									

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	6	発行予定	3
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	一般社団法人 住宅履歴情報蓄積活用推進協議会会員または同等のサービス機関を活用	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有								
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局が中心となり設計管理委員会と会員工務店が方策を協議し、維持管理体制等は施主にも連絡する。 ・昨年度の廃業、倒産は無し。 								
② H30年度における施工構成員の廃業	無								
対応内容									

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有								
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全棟、一次エネルギー消費量等級5を取得し、BELS認証で施主にも省エネ性能を見える形にして提供した。 ・開口部の省エネ性を高める為 Low-Eガラスをグループ基本仕様とし、外皮性能を重視した適切な断熱計画とした。 								
省エネ化に対する取組 ②									
内容									
BELS工務店の登録数	12 社								

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	やまの子・とち木の家協会			
H30採択グループ番号	07	—	0397	— 0173

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/25	名称	やまの子・とち木の家協会共通ルール説明会		
	内容	総会・ルール説明会・特別研修(業界動向、新技術解説他)を計画している。特に平成31年度に変更になったルール解説、遵守事項を重点説明予定。研修として、省エネ ランクアップ物件施工者の体験談を組み込みたい。						
② 消費者	消費者説明会 1	無	開催日		名称			
	内容							
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/11/14	名称	ZEH(ランクアップ)勉強会	タイプ	座学
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	・引続き、構造、省エネ関係の計算、証明書類作成は、ハイビック株が有償サポートする体制とする。 ・プランアドバイスの無償も継続する。データ管理が一元化されてノウハウも蓄積されつつある。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	一般社団法人 住宅履歴情報蓄積活用推進協議会会員または同等のサービス機関を活用
------------	----------	-----	---

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	・事務局が中心となり設計管理委員会と会員工務店が方策を協議し、維持管理体制等は施主にも連絡する。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	・全棟、一次エネルギー消費量等級5を取得し、BELS認証で施主にも省エネ性能を見える形にして提供する。 ・開口部の省エネ性を高める為 Low-Eガラスを基本仕様とし、外皮性能を重視した適切な断熱計画をアドバイスする。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	・小規模改修から取組み、省エネ改修のノウハウをグループ内で共有していく。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/11/14				
内容	・メーカーの協力を得て、推奨される省エネルギー建材の勉強会を実施する。						
研修計画 ②		実施日					
内容							

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	やまの子・とち木の家協会				
H30採択グループ番号	07	—	0397	—	0173

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	国産木材利用を考慮した住宅を基本とし、栃木県産材を主要構造材に50%使用し地産地消を施主にもそのメリットを引き続きアピールしていく。 ・やまの子共通標準仕様(栃木県産材50%・耐震等級2以上)での長寿命型、高度省エネ型住宅の拡販を推進する。 ・省エネ住宅として、一次エネルギー消費量等級5を取得し、BELS認証で施主にも省エネ性能が見える形にて提供する。 ・維持管理費用が軽減できる家づくりとして、屋根・外壁メーカー保障10年以上のもの使用、省エネ設備機器10年保証の推進、節水型トイレ、節水型水栓の導入を積極的に採用する事を求める。
----	--

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	■	80%以上
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明			
主要構造材	土台	有	・主要構造材は栃木県産材を50%使用し、柱のサイズは105mm以上の一般流通材を使用した軸組工法を基本とする。 ・通し柱の接合には、金物(テックワンP3)を使用したハイブリッド工法を適用し、コスト面と耐震性のバランスを考慮した住宅とする。 ・県産材の入手困難な場合や構造的に必要とされる場合には、合法木材に対応する。	
	柱	有		
	梁・桁等の横架材等	有		
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無		
造作材	枠材、廻縁等	無		
板材	壁板、床板等	無		

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	・事務局は、物件情報を元にプレカット供給業者と製材業者と情報交換をし共有する。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	・構造材のグループ共通単価を事務局と関係構成員にて協議し決定する。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	・会員工務店提出エントリーシートにより物件情報を収集し、製材業者、プレカット供給業者と協議し予測を策定する。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	・設計管理委員会は、標準施工・検査基準(やまの子とち木の家・確認チェックシート)に従い適合状況を確認する。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	・1・3・5・10年、以後5年ごとに点検を実施し完了報告を事務局へ提出。 ・点検結果を踏まえて工務店が施主と協議して補修方法を決定する。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	・設計管理委員会は、「やまの子とち木の家・確認チェックシート」にて検査を実施する。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	・標準見積書(工種別見積書)の使用による見積積算を標準化し、施主への理解度を向上させていく。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	【家づくりの目標】 ・栃木県産材を過半使用するなど国産材の活用推進し、施主が愛着の湧く我が家を提案していく。 ・維持管理費用が軽減できる家づくり。 ・住まい手の家族構成の変更に対応できる可変性の高いプランの検討。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	・物件工事契約時、休日を考慮した施工日数である事を施主にも理解を求め、適正工期設定に取り組む。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	・優秀な技能者、特殊な技能者の情報を設計管理委員会で取り纏め、物件に応じて紹介する。
③ 社会保険への加入	有	内容	・グループ加盟時に社会保険加盟の有無を確認し、未加入者には加入を促していく。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	・墜落災害撲滅の為、上棟工事の先行足場架けと外部養生ネット掛けは、グループ統一事項として遵守させる。 ・近隣粉塵対策、作業員健康確保として、PB、外装材切断時の集塵機運動を厳守させる。

II. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	やまの子・とち木の家協会				
H30採択グループ番号	07	—	0397	—	0173

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	・施主からの希望があれば活用していく。
② 和瓦の活用	有	内容	・施主からの希望があれば活用していく。
③ 襖・障子の活用	有	内容	・施主からの希望があれば活用していく。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	・県産材(杉)を使用した内装仕上げ材、建具を施主に提案していく。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	・栃木県周辺の特性である雷雨や豪雨が多いことに考慮した屋根形状。 ・夏の通風を取込む開口計画を検討した住宅の提案。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	・構造材に県産材を使い、施主が愛着の湧く我が家としての提案。 ・住まい手の家族構成の変更に対応できる可変性の高いプランの検討。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	・年間を通して、雨量の多い内陸型気候を考慮したデザインの採用。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	<p>・会員の多くが震災対象地域に住宅を積極的に供給し復興に寄与してきている。 31年度も引き続き地域密着型住宅の供給に取り組んでいく。</p>		
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	<p>・栃木県と合意した災害救助法・住宅応急修理の連携団体として、非常時には地域貢献活動する。 ・被災地域で施工するグループからの技術者、部材等の要望があった場合は、グループ内で協議し積極的に対応する。</p>		